

平成18年11月8日
サード・ステージ推進会議準備会

関西文化学術研究都市サード・ステージ推進会議

設立趣意書(案)

「セカンド・ステージ・プラン」の策定から10年が経過し、学研都市は、総合力の発揮や高度な都市運営が求められる新たな段階を迎えようとしている。また、文化、学術研究及び産業のあらゆる面で革新と協調が必須となるこれからの時代、学研都市には、世界に冠たる科学技術創造立国としての日本の地位確立や持続可能な社会の実現に積極的に貢献していくことが求められている。これからの10年は、まさに学研都市にとって我が国及び世界に貢献する都市に成長できるか否かを左右する極めて重要な時期である。

このような認識のもと、平成18年3月「関西文化学術研究都市サード・ステージ・プラン ～学研都市の新たな展開を目指して～」が策定され、今後10年における学研都市の取り組みの方向が示された。サード・ステージ・プランでは、学研都市が、世界に開かれた文化・学術研究・産業の中心となることを目指し、魅力的な活動拠点としての機能を最大限に発揮するために展開すべき取り組みがまとめられるとともに、従来の取り組みに対する反省も踏まえ、サード・ステージ・プランの実効性を確保するために、サード・ステージ推進会議を新たに設置することが提唱されている。

このようなサード・ステージ・プランの趣旨を踏まえ、プランの確実な推進に係る重要事項の審議、取り組みの実現化方策の検討、フォローアップ等を行うことを目的に、関西文化学術研究都市サード・ステージ推進会議を設置する。

以上